

展示ブース出展要項

2004年11月19-21日に、東京・早稲田大学国際会議場において、「2004年世界アスベスト東京会議 (GAC2004: Global Asbestos Congress 2004 in Tokyo)」が開催されます。

今まさに、アスベストの使用に内在するリスクの根絶に向けて、世界的規模で共同の努力が広がっています。国際労働機関 (ILO) によれば、毎年200万人と推計される死亡労働災害のうち、アスベストによる死亡者だけで10万人にのぼっています。アスベストの有害な健康影響に対する関心の高まりを反映して、欧州連合 (EU) では2005年1月1日までにアスベストの使用が禁止されることになり、日本でも2004年10月1日から「原則禁止」措置が実施されることになりました。他の地域においてもますます具体的な措置がとられるようになってきています。いまこそ、アスベストのリスクに対する足並みをそろえた行動を取り、リスクの開発途上国に対する移転をとめる、緊急の必要性があります。

今なお、アスベストの消費量やアスベスト問題に対する取り組み等に関して、著しいコントラストがみられる、アジアにおいて、このようなアスベストに関する世界会議が開催されるのは、今回が初めてのことです。皆様の積極的な参加を期待しています。

会議の目的

2004年世界アスベスト東京会議の目的は、人類と環境に対するアスベストの有害な影響をいかにして最小化するかを、国レベルおよび国際的な文脈のなかで検証することにあります。会議ではまた、現に出現しつつあり、また今後予測される健康被害の増大にいかに対処していくのか、私たちの周囲にすでに使われてしまっている既存アスベストにいかに対処していくのかという方策も追求されることになるでしょう。東京会議が、私たちの目の前にあるアスベスト・リスクに対する地球的な取り組みの前進に、新たなインパクトを与えることを期待しています。

参加を期待されている方々

本会議には、アスベスト被災者とその家族、労働者、市民、医療関係者、ハイジニスト、専門家、弁護士、行政関係者、政策立案者、その他関心をもつ人々、どなたでも参加することができます。参加者は、国際的及び学際的な基礎のうえに、様々な経験や最新の知識を共有し、問題の所在を確認し、対処の仕方を議論し、また、共通の解決策を探ることができるでしょう。

展示ブースの出展募集

この画期的な世界会議の会場に、展示ブースのスペースを用意いたしました。本要項をご検討のうえ、出展をお申し込みいただければ幸いです。

会議の詳細な内容等については、ウェブサイトをご覧ください。

2004年世界アスベスト東京会議 (GAC2004) 組織委員会

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階

TEL (03) 3636-3882 FAX (03) 3636-3881

E-mail: gac2004@ac.wakwak.com

URL: <http://park3.wakwak.com/~gac2004>

三井住友銀行・亀戸支店 (普) 1601650 「GAC (ジーエーシー) 2004組織委員会」

郵便振替口座 00120-2-444461 「GAC (ジーエーシー) 2004組織委員会」

展示ブース出展要項

出展料

一小間当たり、Sタイプ20万円、Lタイプ50万円。展示ブース出展者は、会議当日に参加者に配付する抄録集に、1/3(Sタイプ)、1/2(Lタイプ)頁分の紹介を掲載することができるようにします。

ブース位置

国際会議場3階第1会議室内に、Sタイプを17小間、3階ロビーに、Lタイプを4小間、の合計21小間を予定しています。小間位置の決定については、組織委員会にご一任ください。

ブース規格

一小間は、Sタイプが間口180cm×奥行き180cm、Lタイプが間口450cm×奥行き180cmとなります。背面に、幅180cm(Sタイプ)m/450cm(Sタイプ)m×高さ240cm×厚さ4.5cmのパネル、片側または両側に、幅180cm×高さ180cm×厚さ4.5cmのパネル、背面パネルの上部には出展者名を表示したサインボード及び45W蛍光灯(Sタイプ1個、Lタイプ3個)が設置される予定です。床は建物の床のままです。背面および側面のパネルは、木製、ベージュ系色のビニールクロス張りで、ピンや画鋸等(出展者が用意)が利用できます(糊付けやガムテープ使用、パネル自体の彩色(ペンキ塗り等)は不可。)

利用可能な備品

会議場備付のテーブル(長さ180cm×幅60cm×高さ70cm)及び椅子を必要数、無料で貸与します。

電気容量

一小間当たり、2個口ついたコンセントを利用できるようにする予定です。使用可能な電気容量が限られているため、使用予定の電気器具・容量は最小限に抑えていただくとともに、必ず事前に事務局に知らせてください。

小間装飾工事等

上記以外の小間装飾とその工事は、出展者の負担となります。装飾工事以外の電気、水道、ガス工事、仮設電話工事等が必要な場合には、可能性の確認を含めて事前に事務局にお問い合わせください。

展示上の留意事項

展示時間中の小間の管理は、出展者の責任において行ってください。早稲田大学「国際会議場利用案内」の「利用上の注意」を遵守し、また、組織委員会の指示には従ってください。

火気、騒音、異臭、有害物の流出等を伴う実演(デモンストレーション)等は認められません。

工事および展示にあたっては、会館の施設・備品等を破損または汚すことのないようご注意ください。損害を賠償する必要がある場合には、出展者の責任となります。

免責

会期中の開場時間終了後は、施設は施錠され、会館の通常の警備に委ねられます(大学では、施設利用中の事故・盗難については、その責を負わないとしています。)

組織委員会としては特別の責任は負いません。

天災地変等により会議が中止のやむなきに至った場合には、組織委員会は納入済みの出展料の全額を返却し、その余の責任は負いません。

搬入および撤去

搬入および装飾等の工事は、2004年11月19日(金)午前8時30分から12時までの間に行っていただく予定です。この時間帯は、大ホールではすでに全体会議が行われており、エレベーターは搬出専用のものでなく通常のものが2基、駐車場も限られています(6台分)。搬入及び装飾等の工事の計画をあらかじめ事務局にお知らせいただき、調整の指示に従ってください。

撤去は、2004年11月21日(日)午後2時から4時までの間に行ってください。

申込方法等

申し込みは事務局までお願いします。予定数に達した場合は、申し込みを締め切らせていただきます。2004年9月18日以降のキャンセル料10万円、9月19日以降は出展料全額を申し受けます。

展示ブース出展要項留意事項

出展の申込・許可、出展料

- 展示ブースの出展を希望する場合は、所定の申込用紙(7頁参照)に必要事項を記入した上、組織委員会事務局宛てにお送りください(〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階)。
- 組織委員会が、出展を許可する場合は、その旨通知(8頁参照)いたします。
- 出展の内容・態様等を大きく変更される場合は、必ず事務局にご連絡ください。
- 展示の内容等について、組織委員会が、会議の趣旨・目的に照らしてふさわしくない、または会議の運営・管理上問題があると判断した場合には、許可をしない、または許可を取り消す場合があります。
- 出展の許可を取り消した場合には、組織委員会は、納入済みの出展料の全額を返却し、その余の責任は負いません。
- 出展料には、展示ブース出展要項記載の基本設備(背面・側面のパネル、サインボード、蛍光灯、テーブル、椅子、コンセント)の利用料金及び抄録集への所定の大きさの紹介掲載料が含まれています。
- サインボードは展示者名のみ記載となります。ロゴ等、特別の仕様を希望される場合には、後掲の基本設備設営業者にご相談ください(別料金での対応になります)。
- 抄録集に掲載する紹介は、Sタイプの場合、幅170mm×高さ85mm、Lタイプの場合、幅170mm×高さ147mmに収まる寸法で、版下をハードコピーまたは対応可能な電子ファイルで入稿していただくことを基本とします。
- 許可通知を受けた日の翌月末日までに、所定の出展料を下記いずれかの口座にお振り込みください。
三井住友銀行・亀戸支店(普)1601650「GAC(ジーエーシー)2004組織委員会」
郵便振替口座 00120-2-444461「GAC(ジーエーシー)2004組織委員会」

ブースの位置・規格

- ブースの位置については、5-6頁の図を参照してください。
- Sタイプのブースには、両側にパネルが設置されるものと、片側のみで他方はオープン・スペースのもの(図の 、 、 、 、)があります。
- 複数のブースを利用することも可能です。
- パネルは、幅90cm×高さ180cm/240cm×厚さ4.5cmの規格品をレンタルで設置する予定です(間口180cmの背面は2枚、間口450cmの背面は5枚、側面180cmは2枚)。組み合わせを変更・追加等することが可能な場合もありますので、希望される場合は事務局にご相談ください(別途追加料金が必要となる可能性もあります)。
- 展示位置の決定は、出展者のご希望を可能な限り尊重しつつ、組織委員会が決定することになりますので、ご理解をお願いいたします。

展示時間

- 展示時間は、以下のとおり予定されています。基本的に、すべての時間を通して展示を行ってください。展示時間中の小間の管理は、出展者の責任となります。
11月19日(金) 午前12時から午後7時まで
11月20日(土) 午前9時から午後7時まで
11月21日(日) 午前9時から午後12時まで
- 組織委員会では会議前日の2004年11月18日(木)に会場を使用できるよう申し込んでおりますが、現時点では、他の行事で仮おさえされているため、午後6時以降しか使用できません。11月18日(木)の日中会場使用が可能になった場合には、11月18日(木)中に展示ブースを含めた設営・準備を終わらせ、会議初日の11月19日(金)午前10時(開会式終了後)からを展示時間とするよう変更する予定でありますので、ご理解をお願いいたします。変更が決まった場合には、速やかにご連絡します。

設営・撤去等に当たっての留意事項

- 基本設備の設営は、会議前日の2004年11月18日(木)午後6時から9時の間に済ませ、展示者による小間装飾等を会議初日の11月19日(金)午前中に行っていただく予定です。
- 11月18日(木)夜の時間帯は、2基あるエレベーターは組織委員会と基本設備設営業者が専用し、基本的に展示ブースの設営場所である会議場3階は他者の立ち入りは禁止し、また、1階ロビーも写真展会

場や受付の設営等で混み合っていることが予想されることを、あらかじめご承知おきください。

- しかしながら、必要な物品を11月18日(木)夜のうちに会場内の可能な場所に搬入しておけば、11月19日(金)午前中に行っていただく小間装飾等がスムーズに行くことも事実です。最大限融通の効いた効率的な段取りを整えたいと考えておりますので、準備の希望及び計画を必ず事務局にご連絡いただき、緊密に連絡・調整を行いながら、組織委員会の指示に従っていただくようお願いいたします。
- なお、装飾工事やレンタル品については、基本設備設営業者に依頼すれば、11月18日(木)夜のうちに準備が可能なものもあるかもしれません。希望される場合には、後掲の基本設備設営業者にご相談の上、出展者の責任において契約してください。
- 駐車場のスペースは6台分しかなく、早稲田大学の認可を受けて組織委員会が発行する「駐車許可証」を持った車両以外は駐車できません。希望及び計画を必ず事務局にご連絡いただき、緊密に連絡・調整を行いながら、組織委員会の指示に従っていただくようお願いいたします。
- 以上の設営の予定は、11月18日(木)の日中会場使用が可能になった場合には、変更される予定です。変更が決まった場合には、速やかにご連絡しますので、ご理解をお願いいたします。
- 11月21日(日)午後の撤収についても、計画を必ず事務局にご連絡いただき、緊密に連絡・調整を行いながら、組織委員会の指示に従っていただくようお願いいたします。
- 設営・撤去要員には、組織委員会が専用の入場証を発行いたしますので、必ず着用してください。また、展示時間中、一小間当たり原則3名分の展示要員用の入場証を発行いたしますので、必ず着用してください。この入場証では、全体会議(大ホール)及びワークショップ(3階第2会議室)には入場できませんので、入場を希望される場合には、会議への参加登録をしていただくようお願いいたします。

装飾・展示等に当たっての留意事項

- 会議には、50～100人の海外からの参加者が見込まれ、また、会議の使用言語は日本語及び英語であることから、展示内容等の英語による紹介についても配慮いただければ幸いです。残念ながら、組織委員会では、翻訳・通訳等のサービスは提供しておりません。
- 会場3階第1会議室の電気容量は、20A×3=60Aしかありません。各小間に設置する蛍光灯使用分を除くと、一小間当たりの使用可能な電気容量は200W強程度と見込まざるを得ません。電気容量を増やす工夫は引き続き検討していますが、現時点ではこれを前提としてください。ノートパソコン1台を使用することは可能ですが、ビデオを上映する余裕はないものと考えられます。

早稲田大学「国際会議場利用案内」の「利用上の注意」(関連部分)

- 会議場施設利用中の事故・盗難については、本学はその責を負いません。
- 会議室内は禁煙です。
- 掲示物を壁やドア等にセロテープ、鋸で張るのは止めてください。掲示する必要があるときは、1本足掲示板等を使用してください。
- 国際会議場施設の変更・増設または特別の掲示等を設置する場合は、あらかじめ大学の許可を得てください。
- 非常口、消化器の位置及び非難誘導方法は、必ず事前に確認してください。
- 施設備え付け備品、什器等を持ち出さないでください。
- 設営時あるいは食事提供時等にでるゴミ類は、お持ち帰り願います。
- 許可なく物品の販売及び陳列を行わないでください。
- 施設の設備等を破損した場合は修理に要する費用は請求いたします。
- その他国際会議場の利用に当たっては係員の指示に従ってください。

連絡先等

2004年世界アスベスト東京会議(GAC2004)事務局

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階

TEL(03)3636-3882 FAX(03)3636-3881 E-mail: gac2004@ac.wakwak.com

早稲田大学国際会議場

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-20-14

TEL(03)5286-1755 FAX(03)5272-2063

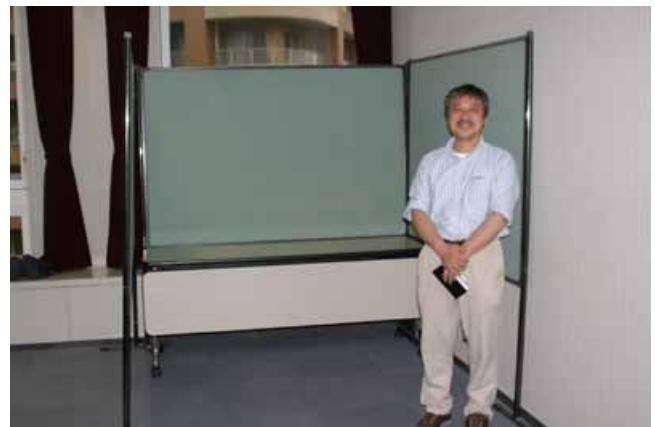
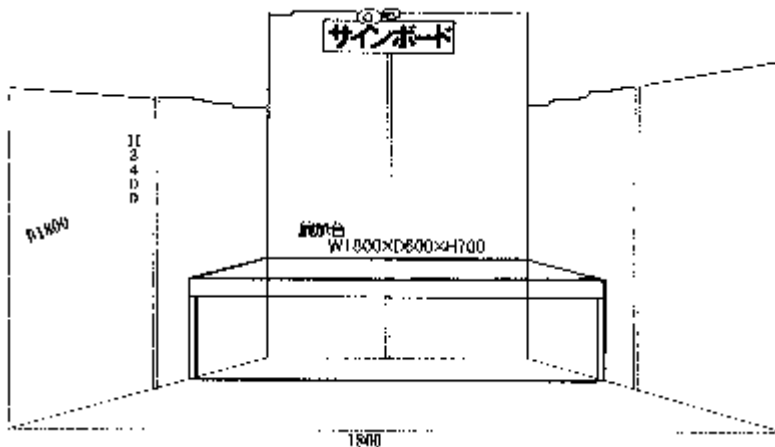
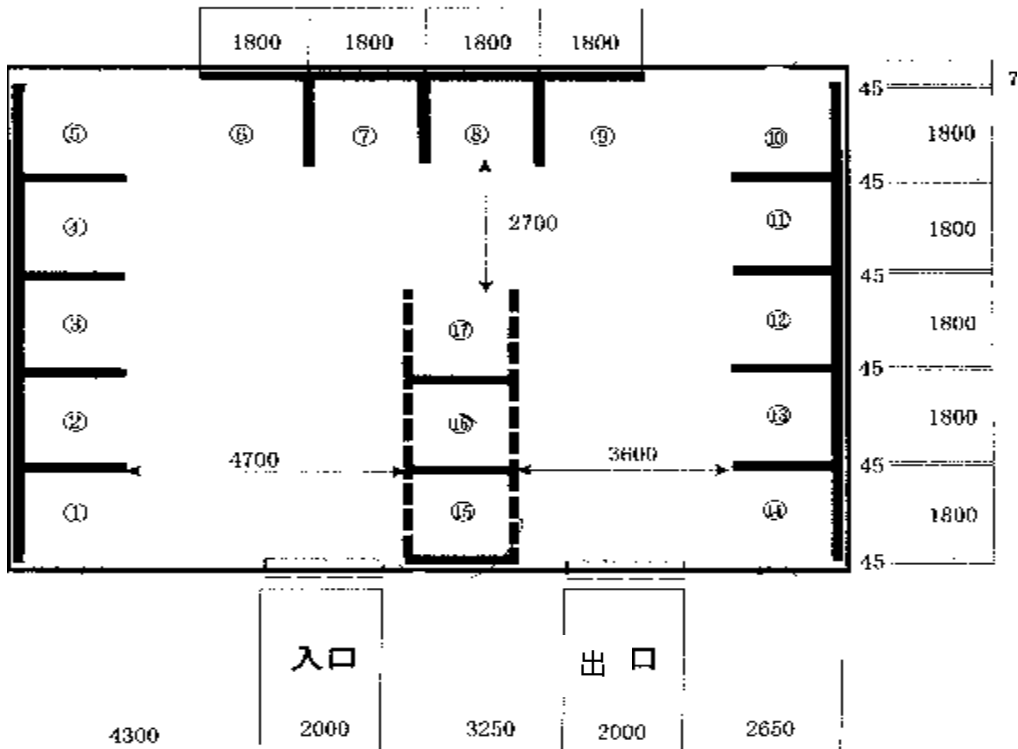
基本設備設営業者(エイチツー・プロジェクト(H2 PROJECT))

〒170-0012 東京都豊島区上池袋1-8-1 宮本ビル1階 (担当: 平田晴夫・営業開発部課長)

TEL(03)3910-5505 FAX(03)3910-5013 E-mail: h2pj@t.toshima.ne.jp

(2004年6月7日作成)

展示ブースタイプ(3階第1会議室)



展示ブースタイプのイメージ(机と小間の広さのみ同一、パネルは全く別のものです)

2004年 月 日

2004年世界アスベスト東京会議(GAC2004)組織委員会
委員長 天明佳臣 殿

(出展者住所・氏名・代表者名・押印)

2004年11月19-21日、早稲田大学国際会議場において開催される「2004年世界アスベスト東京会議(GAC2004)」の目的に賛同し、展示ブースを出展することを申し込みます。
出展に当たっては、展示ブース出展要項・同留意事項及び組織委員会の指示を遵守します。

出展者名：(日本語)	
(英語)	
担当者名：	部署・電話番号
展示の内容・態様(具体的に)：	
希望する展示ブースの規格・位置： <input type="checkbox"/> Sタイプ <input type="checkbox"/> Lタイプ 希望する位置 No. []	
テーブル・椅子の利用予定数：	テーブル[]個 椅子[]個
利用予定の電気器具・容量：	

2004年 月 日

(出展者申込者) 殿

2004年世界アスベスト東京会議(GAC2004)組織委員会
〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階
TEL(03)3636-3882 FAX(03)3636-3881
URL: <http://park3.wakwak.com/~gac2004>
E-mail: gac2004@ac.wakwak.com

委員長 天明佳臣
(担当者名)

2004年 月 日付けでお申し込みのありました、2004年11月19-21日、早稲田大学国際会議場において開催される「2004年世界アスベスト東京会議(GAC2004)」会場における展示ブースの出展を許可します。出展に当たっては、展示ブース出展要項・同留意事項及び組織委員会の指示を遵守してください。

2004年世界アスベスト東京会議(GAC2004)組織委員会

委員長 天明佳臣(全国労働安全衛生センター連絡会議議長、医師)

顧問 小木和孝((財)労働科学研究所主管研究員、元ILO労働条件環境局長) / 鈴木武夫(元国立公衆衛生院院長) / 鈴木康之亮(米ニューヨーク・マウントサイナイ医科大学教授(地域・予防医学及び病理学)) / 広瀬弘忠(東京女子大学文理学部教授(リスク・災害心理学))

組織委員 飯田勝泰((NPO)東京労働安全衛生センター事務局長) / 井内康輝(広島大学大学院医歯薬学総合研究科病理学教授(医学部長)、石綿・中皮腫研究会代表幹事) / 上野満雄(自治体労働安全衛生研究会事務局長、医師) / 宇野林蔵(横須賀じん肺被災者の会相談役) / 大島寿美子(北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科専任講師、科学ジャーナリスト) / 富山洋子(日本消費者連盟代表運営委員) / 中地重晴(環境監視研究所所長、有害化学物質削減ネットワーク(T-ウォッチ)代表) / 中野孝司(兵庫医科大学内科学呼吸器RCU科教授) / 古川和子(中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会) / マリ・クリスチーナ(国連ハピタット親善大使、異文化コミュニケーター、TVパーソナリティー) / 宮本一(全国建設労働組合総連合(全建総連)労働対策部長) / 村山武彦(早稲田大学理工学部教授(複合領域)) / 森田明(弁護士、神奈川大学法科大学院教授)

事務局長 古谷杉郎(石綿対策全国連絡会議事務局長)

事務局次長 安間武(化学物質問題市民研究会)

事務局 今井明(カメラマン) / 植草和則(中皮腫・じん肺・アスベストセンター) / 大内加寿子(アスベストについて考える会) / 永倉冬史(アスベスト根絶ネットワーク) / 名取雄司(亀戸ひまわり診療所、医師) / 西田隆重(じん肺・アスベスト被災者救済基金) / 渡辺治子(ノーウェア主宰、桑沢デザイン研究所非常勤講師)

国際委員会 アニー・デボ・モニ(フランス: 国立衛生医学研究所(INSERM)現代社会公衆衛生問題研究所(CRESP)研究部長) / ツシャ・カン・ジョシ(インド: 労働・環境保健センター所長・プロジェクト・ディレクター) / バク・ドンミョン(白道明)(韓国: ソウル大学保健大学院産業保健学教授) / バリー・キャッスルマン(アメリカ: 環境コンサルタント、『アスベスト: 医学的・法的側面』の著者) / フェルナンダ・ギアナージ(ブラジル: 労働安全衛生監督官、アスベスト曝露者協会) / ローリー・カザンアレン(イギリス: アスベスト禁止国際書記局(IBAS)コーディネーター)

協賛 全日本自治団体労働組合(自治労) / 全国建設労働組合総連合(全建総連) / 全日本港湾労働組合(全港湾) / 全造船機械労働組合(全造船) / 全日本水道労働組合(全水道) / 日本消費者連盟 / 労働者住民医療機関連絡会議 / 中皮腫・じん肺・アスベストセンター / 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 / 石綿対策全国連絡会議(BANJAN) / アスベスト禁止国際書記局(IBAS)

後援 厚生労働省 / 環境省 / ILO駐日事務所 / 東京都 / 日本労働組合総連合会(連合) / 日本医師会 / 日本経済新聞社 / 朝日新聞社 / 石綿・中皮腫研究会 / エコケミストリー研究会 / (社)日本化学会 / 日本環境学会 / 日本リスク研究学会 / 日本衛生学会 / 日本地質学会 / 廃棄物学会 / (社)環境科学会 / 日本肺癌学会 / (社)日本建築学会 / (社)日本産業衛生学会 / (社)日本水環境学会 / (財)日本建築センター / (社)日本建築材料協会 / (社)環境情報科学センター / 田尻宗昭記念基金 / ラマチャーニ協会 / 労働環境衛生学会(SOEH:アメリカ) / 国際労働衛生会議・呼吸器障害科学委員会(SC-RD, ICOH) / ヨーロッパ労連(ETUC)